

記入例
(ある大学の例)

免許状更新講習認定申請書

(教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項)

文字数が多い場合は、印刷した際に文字が切れたりすることがないように、注意して下さい。
講習名などが途中までしか記載されていない申請書は、受理することができません。

(1) 基本的事項

| | | | | | |
|----------|---------------------------|--------------|--------------|---------|----------------------------|
| ①開設講習名 | 教育の最新事情 | ②会場 | A大学 | (所在地) | 東京都千代田区 |
| ③開設者名 | A大学 | (区分) | 大学 | ④設置者名 | 国立大学法人A大学 |
| ⑤開設日 | 平成21年7月30日～ 平成21年7月31日 | ⑥時間数 | 12時間 | ⑦受講予定人数 | 50人 |
| ⑧受講者募集期間 | 平成21年4月16日～ 平成21年5月15日 | ⑪履修認定時期 | 平成21年8月10日まで | ⑫試験の方法 | 筆記試験 (左で「その他」を選択した場合内容を記入) |
| ⑬受講料等総額 | 12,000円 | (うち受講料以外の経費) | | | |

(2) 講習内容(⑭) (※100～200字程度にまとめてください。)

「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。

講習内容、目的、方法、主に想定する受講対象者等を記載してください。
(文部科学省のホームページにそのまま公表されます。)

(3) 担当講師(※講習を担当する可能性のある講師を全て記入してください。「⑩担当事項」には、裏面「A. 講習内容」の「記号」欄のアルファベット(a～v)を記入してください。大学教員の発令の有無にはチェックを入れてください。)

| ⑮担当講師 | ⑯講師の主要職歴 | ⑰主な専門分野・業績 | ⑩担当事項 | ※大学教員の発令の有無 |
|-------|--|----------------|---------|---|
| ◇◇ ◇◇ | A大学教育学部教授(現職) | 教育学、社会教育学 | a,b,c,p | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| △△ △△ | A大学教育学部教授(現職) | 発達心理学、障害児発達心理学 | d,e,h,j | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| □□ □□ | C株式会社研究員(現職) 平成21年4月 A大学教育学部准教授就任予定 | 臨床心理学 | f,k | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| ☆☆ ☆☆ | E大学教育学部准教授(現職) | 教育方法学 | l,m,n,o | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| ▽▽ ▽▽ | A大学教育学部教授(現職) 平成21年3月 定年退職予定 | 学校経営学 | q,t,u,v | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

(4) 複数開設する場合

※実施形態・内容・時間数が同一で、(3)に記載した講師が実施する講習を異なる期間で実施する場合に記入してください。(2講習以上該当する場合、適宜、枠を追加して記入してください。)該当がない場合は、この欄を適宜削除しても構いません。

| | | | |
|----------|---------------------------|---------|---------------------|
| ②会場 | A大学 | (所在地) | 東京都千代田区 |
| ⑤開設日 | 平成21年8月5日～ 平成21年8月6日 | ⑦受講予定人数 | 50人 |
| ⑧受講者募集期間 | 平成21年4月16日～ 平成21年5月15日 | | |
| ⑪履修認定時期 | 平成21年8月10日まで | ⑬受講料等総額 | 12,000円(うち受講料以外の経費) |

(5) 基準の適合性について

A. 講習内容について

講習内容に下記の内容が含まれていることを確認し、チェックを入れてください。
 ただし、網掛け部分はいずれかの内容が含まれていれば可とします。複数回開設する場合で回により網掛け部分の内容が異なる場合には、複数回の中で実施されるすべての内容につきチェックを入れてください。

| 項目 | 細目 | 記号 | 含めるべき内容・留意事項 | チェック欄 |
|----------------------|---|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 教職についての省察 | 学校を巡る近年の状況変化 | a | 客観的・具体的材料(各種報道・世論調査・統計等)の適切な利用 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 教員としての子ども観、教育観等についての省察 | b | 子ども観、教育観等についての省察 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | c | 教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 子どもの変化についての理解 | 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。) | d | 子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | e | 特別支援教育に関する新たな課題(LD、ADHD等) | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 子どもの生活の変化を踏まえた課題 | f | 居場所づくりを意識した集団形成 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | g | 多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割 | <input type="checkbox"/> |
| | | h | 生活習慣の変化を踏まえた生徒指導 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | i | 社会的・経済的環境の変化に応じたキャリア教育 | <input type="checkbox"/> |
| | | j | その他の課題 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| k | カウンセリングマインドの必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 教育政策の動向についての理解 | 学習指導要領の改訂の動向等 | l | 総則の趣旨の理解 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | m | 意欲を喚起する学習指導 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | n | 子どもの実態を踏まえた道徳・特別活動の指導 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | o | その他近年の状況を踏まえた内容 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 法令改正及び国の審議会の状況等 | p | 法令改正、国の審議会の状況等 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 学校の内外における連携協力についての理解 | 様々な問題に対する組織的対応の必要性 | q | 学校組織の一員としてのマネジメント・マインドの形成 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | r | 保護者・地域社会との連携 | <input type="checkbox"/> |
| | | s | その他近年の状況を踏まえた内容 | <input type="checkbox"/> |
| | t | 対人関係、日常的コミュニケーションの重要性 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 学校における危機管理上の課題 | u | 校内外の安全確保に関する内容 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | | v | 情報セキュリティなど近年の状況を踏まえた内容 | <input checked="" type="checkbox"/> |

B. 実施にあたっての留意事項について

以下の条件をクリアしていることを確認し、チェックを入れてください。

- 受講者に対する事前の課題意識調査、事後評価を実施することとしているか。
- 開設者は講習の開設者(大学以外の者は免許状更新講習規則第1条)に該当する者か。
- 講師は講習の講師となれる者(教職課程を担当する教授等以外の者は免許状更新講習規則第5条)に該当する者か。
- 全体で12時間以上開講しているか。
- 通常教員が教育活動を行う時間以外に開設されているか。(ただし、長期休業期間等であれば可)
(該当しない場合の理由:)
- 履修認定は試験により行われるか(レポートを提出するだけでは試験としては認められない)。

(6) 備考(※認定要件ではありませんが、該当ある場合に記入してください。)

障害者の配慮について、対応準備がある場合または該当者から相談があった際に対応予定の場合にプルダウンで該当事項を選択してください。
 相談に応じ対応予定

対面授業と通信・放送・インターネットを組み合わせる場合に記入してください。
 (組み合わせる講義形式) 通信教育 放送 インターネット その他()
 (通信教育等で開講する時間数: 時間) (通信教育等で開講する内容:)

(7) 担当者の連絡先

| | | | | | |
|-----|--------------|-----|--------------|------------|---|
| 氏名 | ◎◎ ◎◎ | 所属 | 教務課免許状更新講習担当 | 所在地 | 東京都千代田区霞が関3-2-2 |
| Tel | 03-6734-3574 | Fax | 03-6734-3742 | E-mail | koushin@mext.go.jp |
| | | | | 開設者のHPアドレス | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm |

文部科学大臣 殿

このたび、教育職員免許法第9条の3第1項の規定により、免許状更新講習の認定を受けたいので、上記のとおり申請します。

平成20年11月30日

A大学長 ○○ ○○ 印

記入例
(ある大学の例)

「教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項」に関する免許状更新講習

| 開設者名 | 講習の名称 | 講習の概要 | 担当講師 | 講習の開催地 | 時間数 | 講習の期間 | 受講料 | 受講人数 | 受講者募集期間 | 認定番号 | 電話番号 | URL | 認定速報用メールアドレス | 障害者の配慮の対応状況 |
|------|---------|---|---|---------|------|-----------------------|---------|------|-----------------------|------|--------------|---|--------------------|-------------|
| A大学 | 教育の最新事情 | 「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 | ◇◇ ◇◇(教育学部教授) △△ △△(教育学部教授) □□ □□(C株式会社研究員) ☆☆ ☆☆(E大学教育学部准教授) ▽▽ ▽▽(教育学部教授) | 東京都千代田区 | 12時間 | 平成21年7月30日～平成21年7月31日 | 12,000円 | 50人 | 平成21年4月16日～平成21年5月15日 | | 03-6734-3574 | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm | koushin@mext.go.jp | 相談に応じ対応予定 |
| A大学 | 教育の最新事情 | 「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 | ◇◇ ◇◇(教育学部教授) △△ △△(教育学部教授) □□ □□(C株式会社研究員) ☆☆ ☆☆(E大学教育学部准教授) ▽▽ ▽▽(教育学部教授) | 東京都千代田区 | 12時間 | 平成21年8月5日～平成21年8月8日 | 12,000円 | 50人 | 年4月16日～平成21年5月15日 | | 03-6734-3574 | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm | koushin@mext.go.jp | 相談に応じ対応予定 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

・氏名を記入し、()には現職を記入してください。
 ・自大学の講師の場合、現職は大学名を省略してください。
 ・他大学の講師の場合、現職は大学名を記入してください。
 ・現職がない場合に限り、「元〇〇大学教授」など、以前の職等を記入して下さい。
 ※ この一覧表は公表することを目的とするものことから、現職を記入し、今後の人事の予定(就任、退職等の予定)については、記入しないようご注意ください。

※印刷枠外欄(認定速報用メールアドレス、障害者の配慮の対応状況)についても、入力し、メール提出ください。

記入例

(ある大学の例)

免許状更新講習認定申請書

(教科指導、生徒指導その他教育の充実に係る事項)

文字数が多い場合は、印刷した際に文字が切れたりすることがないように、注意して下さい。
講習名などが途中までしか記載されていない申請書は、受理することができません。

(1) 基本的事項

| | | | | | |
|----------|--------------------------|--------------|---|--------------------|--------------|
| ①開設講習名 | 児童生徒の問題行動と生徒指導について | ②会場 | A大学 | (所在地) | 東京都千代田区 |
| ③開設者名 | A大学 | (区分) | 大学 | ④設置者名 | 国立大学法人A大学 |
| ⑤開設日 | 平成21年8月8日～ 平成21年8月9日 | ⑥時間数 | 6時間 | ⑦受講予定人数 | 30人 |
| ⑧受講者募集期間 | 平成21年5月1日～ 平成21年5月31日 | ⑨履修認定対象職種 | 教諭 養護教諭 | ⑩主な受講対象者 | 小・中学校教諭、養護教諭 |
| ⑪履修認定時期 | 平成21年8月20日まで | ⑫試験の方法 | 筆記試験 | (左記以外を選択した場合内容を記入) | |
| ⑬受講料等総額 | 6,000円 | (うち受講料以外の経費) | 講習内容と学校教育活動との関連性を踏まえて、特に中心となることが想定される職種、学校種、教科種について具体的に記載してください。 (※履修認定対象職種の場合は、ここに記載された学校種、教科種以外であっても履修可能です。) | | |

(2) 講習内容(⑭) (※100～200字程度にまとめてください。)

| |
|---|
| いじめや不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の現状を分析し、その背景に応じた生徒指導の在り方、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、児童相談所など関係機関との連携の在り方等を考える。更に、深刻化するネットいじめへの対応策、ゼロ・トレランスなどの新しい課題についても触れ、今後の生徒指導にどのように活かしていくかを考察する。小・中学校における事例を多く扱うため、主な受講対象者は小・中学校教諭とするが、高校教諭も受講可能。 |
|---|

(3) 担当講師 (※講習を)

| ⑮担当講師 | ⑯講師の主要職歴 | ⑰主な専門分野・業績 | ※大学教員の発令の有無 |
|-------|---|------------------|---|
| ◇◇ ◇◇ | A大学教育学部教授(現職) | 生徒指導論、学校カウンセリング論 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| △△ △△ | 元A大学教育学部教授 B市児童相談所所長(現職) C大学非常勤講師(現職) | 発達心理学、臨床心理学 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| | | | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |

(4) 複数開設する場合

※実施形態・内容・時間数が同一で、(3)に記載した講師が実施する講習を異なる期間で実施する場合に記入してください。(2講習以上該当する場合、適宜、枠を追加して記入してください。)該当がない場合は、この欄を適宜削除しても構いません。

| | | | |
|----------|---------------------------|---------|--------------------|
| ②会場 | A大学Dキャンパス | (所在地) | 茨城県つくば市 |
| ⑤開設日 | 平成21年8月22日～ 平成21年8月23日 | ⑦受講予定人数 | 30人 |
| ⑧受講者募集期間 | 平成21年5月1日～ 平成21年5月31日 | ⑩受講料等総額 | 6,000円(うち受講料以外の経費) |
| ⑪履修認定時期 | 平成21年8月31日まで | | |

(5) 基準の適合性について

以下の条件をクリアしていることを確認し、チェックを入れてください。

- 受講者に対する事前の課題意識調査、事後評価を実施することとしているか。
- 開設者は講習の開設者(大学以外の者は免許状更新講習規則第1条)に該当する者か。
- 講師は講習の講師となれる者(教職課程を担当する教授等以外の者は免許状更新講習規則第5条)に該当する者か。
- 全体で6時間以上開講しているか。
- 通常教員が教育活動を行う時間以外に開設されているか。(ただし、長期休業期間等であれば可)
(該当しない場合の理由:)
- 履修認定は試験により行われるか(レポートを提出するだけでは試験としては認められない)。

(6) 備考(※認定要件ではありませんが、該当ある場合に記入してください。)

○ 障害者の配慮について、対応準備がある場合または該当者から相談があった際に対応予定の場合にプルダウンで該当事項を選択してください。

対応準備あり

○ 対面授業と通信・放送・インターネットを組み合わせる場合に記入してください。

(組み合わせる講義形式) 通信教育 放送 インターネット その他()

(通信教育等で開講する時間数: 時間) (通信教育等で開講する内容:)

(7) 担当者の連絡先

| | | | | | |
|-----|--------------|-----|--------------|------------|---|
| 氏名 | ◎◎ ◎◎ | 所属 | 教務課免許状更新講習担当 | 所在地 | 東京都千代田区霞が関3-2-2 |
| Tel | 03-6734-3574 | Fax | 03-6734-3742 | E-mail | koushin@mext.go.jp |
| | | | | 開設者のHPアドレス | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm |

文部科学大臣 殿

このたび、教育職員免許法第9条の3第1項の規定により、免許状更新講習の認定を受けたいので、上記のとおり申請します。

平成20年11月30日

A大学長 ○○ ○○ 印

記入例
(ある大学の例)

「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習

| 開設者名 | 講習の名称 | 講習の概要 | 担当講師 | 講習の開催地 | 時間数 | 講習の期間 | 対象職種 | 主な受講対象者 | 受講料 | 受講人数 | 受講者募集期間 | 認定番号 | 電話番号 | URL | 認定速報用メールアドレス | 障害者の配慮の対応状況 |
|------|--------------------|--|--|---------|-----|-----------------------|------------|--------------|--------|------|----------------------|------|--------------|---|--------------------|-------------|
| A大学 | 児童生徒の問題行動と生徒指導について | いじめや不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の現状を分析し、その背景に応じた生徒指導の在り方、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、児童相談所など関係機関との連携の在り方等を考える。更に、深刻化するネットいじめへの対応策、ゼロトレランスなどの新しい課題についても触れ、今後の生徒指導にどのように活かしていくかを考察する。小・中学校における事例を多く扱うため、主な受講対象者は小・中学校教諭とするが、高校教諭も受講可能。 | ◇◇ ◇◇(教育学部教授) △△ △△(B市児童相談所所長、C大学非常勤講師) | 東京都千代田区 | 6時間 | 平成21年8月8日～平成21年8月9日 | 教諭 養護教諭 | 小・中学校教諭、養護教諭 | 6,000円 | 30人 | 平成21年5月1日～平成21年5月31日 | | 03-6734-3574 | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm | koushin@mext.go.jp | 対応準備あり |
| A大学 | 児童生徒の問題行動と生徒指導について | いじめや不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の現状を分析し、その背景に応じた生徒指導の在り方、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、児童相談所など関係機関との連携の在り方等を考える。更に、深刻化するネットいじめへの対応策、ゼロトレランスなどの新しい課題についても触れ、今後の生徒指導にどのように活かしていくかを考察する。小・中学校における事例を多く扱うため、主な受講対象者は小・中学校教諭とするが、高校教諭も受講可能。 | ◇◇ ◇◇(教育学部教授) △△ △△(B市児童相談所所長、C大学非常勤講師) | 茨城県つくば市 | 6時間 | 平成21年8月22日～平成21年8月23日 | 教諭 養護教諭 | 小・中学校教諭、養護教諭 | 6,000円 | 30人 | 平成21年5月1日～平成21年5月31日 | | 03-6734-3574 | http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm | koushin@mext.go.jp | 対応準備あり |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

・氏名を記入し、()には現職を記入してください。
 ・自大学の講師の場合、現職は大学名を省略してください。
 ・他大学の講師の場合、現職は大学名を記入してください。
 ・現職がない場合に限り、「元〇〇大学教授」など、以前の職等を記入して下さい。
 ※ この一覧表は公表することを目的とするものであることから、現職を記入し、今後の人事の予定(就任、退職等の予定)については、記入しないようご注意ください。

※印刷枠外欄(認定速報用メールアドレス、障害者の配慮の対応状況)についても、入力し、メール提出ください。